

皆さんお元気ですか

2017年5月の出来事を綴っています。ご覧くださいます。



5月30日。第28回TAA (Takemusu Aiki Association) 岩間スタイルメモリアルディーウィークエンド合気道合宿に参加するために、米国ネバダ州リノ市にきている。5月25日、午前7時ごろニカラグアを飛び立ち、フロリダ州のマイアミ、テキサス州のダラス空港と乗り継ぎで、午後7時半ごろリノ空港についた。この日は、「La Quita」というリノ空港の近くのモーテルに1泊した。その後、5月26日から28日までは、レイクタホ市の別荘 (Secluded tahoe mansion) にオークランド合気道道場の生徒たちと一緒に泊まった。三日間の合宿が終わり、現在同じモーテルに泊まっている。ニカラグアから先進国のアメリカにタイムスリップして、またカルチャーショックを受けた。まず、リノ空港には、スロットマシンが置いてあり、またコンビニストアにもスロットマシンがあった。さすがギャンブルの街。カジノの街だ。



5月26日、リノ市で合気道を習っているJoeさんの家を訪問した。Joeさんは、英語の先生だったが、最近退職したらしい。若い時には、岩国にも住んでいたとのこと。彼は、日本ひいきで、彼の家には石庭があり、高さ1, 2mくらいの縦に長い黒い岩が3つ並んでいて、その先から水が流れでていた。また、その3個の岩の裏には、木で作られた鳥居があった。午前中は、オークランド道場の友人、Kimさん夫妻とJoeさん夫妻とで、リノ市の中心部から東へ1時間ほど車で行ったところにあるレイクピラミッド (Pyramid lake) に行った。このあたりは、インディアンの居住地だったらしい。遠くからこの湖面を見るとその青さがとてもきれいだった。湖水は、塩水ということだったので、早速水をなめてみたが思ったほど塩っぱくはなかった。湖畔の山々には木がなく岩場で、ウェスタン映画に出てきそうな砂漠地帯である。湖畔で、日光浴、釣り、カヌーなどを行っている人々を見かけた。



5月26日、午後からは、Joeさんと同じ道場で稽古しているTomさんが、夕方から始まる合宿に参加するために、レイクタホ(Lake Tahoe)の会場まで連れてくれた。実は、30年ほど前にもこの街に斎藤先生の講習会で来た事がある。ここは、冬季オリンピックの開催地であり、その当時の看板を見て、懐かしく思った。また、それ以前にも友人とスキーに来たこともあり、数十メートルもある崖から落ちそうになりあぶなかったことを思い出した。午前中は山岳地帯に全く木がないところから、午後は針葉樹林の生い茂るスキーリゾートにきた。この環境の違いに感激していた。また、レイクタホは山の雪が解けて溜まった湖であり、この湖から流れでて最終地点がレイクピラミッド湖と聞いた。この川をカヌーで下ってみたい気分になった。



5月26日からの三日間は、今回の合宿に参加したオークランド道場の合気道仲間、20人ほどと一緒に別荘に泊まった。この中の一人、デボラさんは、約37年前にオークランド道場で知り合った合気道仲間だ。彼女も相変わらず稽古を続けている。おっとりしたやさしい性格は全く変わってなかった。また、他の人とは、昨年澤先生のサンフランシスコ講習会の後、私はひとりでオークランド道場にも行ったので、今回集まった仲間とは2回目となる。この別荘は、斜面に建てられた4階建ての木造建築だ。その一軒家を丸ごと3日間借りた。4階には広いキッチンやダイニングルームがあり、オークランドから持ち込んだ食料をみんなで料理しながら食事を楽しんだ。この仲間の何人かは岩間道場に行ったこともあると言った。また、現在この道場の数人が岩間道場で内弟子をしているので、彼らとスカイプでテレビ電話した。岩間道場とレイクタホとが繋がり、みんなで盛り上がった。いつも思うことだが、合気道を長く続けていて、本当に良かったと。今回、会った合気道仲間とはまだ2回しか会ってないが、すぐに打ち解けて、共通の話題があり、ともに汗をかき、切磋琢磨することができる喜びを感じる。

